

## ⑦施設運営

- ・「ICカード」を利用した自動計量システムや「キャッシュレス決済」を導入し受付・計量時間を短縮化することで渋滞抑制や利用者の利便性向上を図ります。

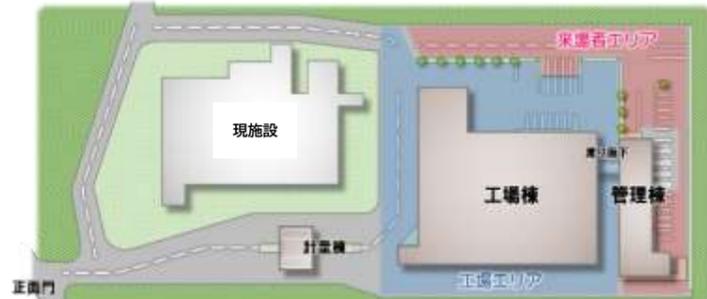
## ⑧工事中の安全、品質の確保及び工期の遵守

- ・大型機器を工場で組立てるなど、現地作業を効率化し安全性や品質を向上させます。
- ・効果的な工法・仮設計画を積極的に採用し、安全かつ高品質な工事を行い、工期を守ります。

## ⑨地元企業との連携

- ・ごみ処理施設の知見・ノウハウを持つ代表企業と、地域特有の知見・ノウハウを持つ地元企業が相互にサポートし合いながら事業に取り組みます。

## 敷地全体配置図（予定）



注：完成イメージ図のため、変更の可能性があります。

## 建設工程（予定）

|        | 令和4年      | 令和5年    | 令和6年     | 令和7年  | 令和8年 |
|--------|-----------|---------|----------|-------|------|
| 設計     | 実施設計・建築確認 |         |          |       |      |
| 建築工事   |           | 基礎・地下工事 | 地上部工事    |       |      |
| プラント工事 |           |         | 機械・電気設備他 | 試運転調整 |      |

|       |                                     |
|-------|-------------------------------------|
| 工事名称  | 高山市ごみ処理施設建設工事                       |
| 建設場所  | 岐阜県高山市三福寺町1800番地 外（現施設の東側）          |
| 機種    | 全連続燃焼式ストーカ方式                        |
| 施設規模  | 95t/24h（47.5t/24h×2炉）               |
| 建物高さ  | 工場棟・管理棟 高さ約21m、煙突 高さ約59m            |
| 事業期間  | 令和4年12月21日～令和8年2月13日                |
| 処理対象物 | 可燃ごみ、破碎・選別残さ、産業廃棄物（可燃ごみ）、災害廃棄物（可燃物） |
| 契約額   | 14,182,300,000円（税込み）                |

問い合わせ先：高山市役所 ごみ処理場建設推進課 TEL0577-57-5177



計量棟イメージ



## 高山市ごみ処理施設建設工事

## 施設概要



12月市議会において、新ごみ処理施設建設の請負契約が承認されましたので、施設概要についてお知らせします。

地元町内会のみなさまには、新施設の建設について長きに亘りご心配やご迷惑をおかけしましたが、安心して暮らせる環境を確保するため、国内トップクラスの環境性能等を講じてまいりますので引き続きご理解ご協力をお願いいたします。

新施設は、地元町内会の代表の方にもご参画いただき策定した「高山市ごみ処理施設基本設計」に基づいて、発注仕様書及び落札候補者選定基準書等を作成し、建設事業者の選定には、学識経験者や建築の専門家などにより組織される「高山市ごみ処理施設建設事業者選定委員会」を設置し、本年5月に入札公告を行いました。

その結果、2つの企業グループから応募があり、事業者選定委員会による厳正なる審査を経て、下記企業グループを建設事業者として決定したところです。今後は建設事業者と設計協議を行い、令和5年秋頃より工事に着手してまいります。進捗状況については随時お知らせさせていただきます。

工事期間中においては、ご迷惑等をおかけしないよう十分に配慮して工事を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

ごみ処理施設建設  
企業グループ

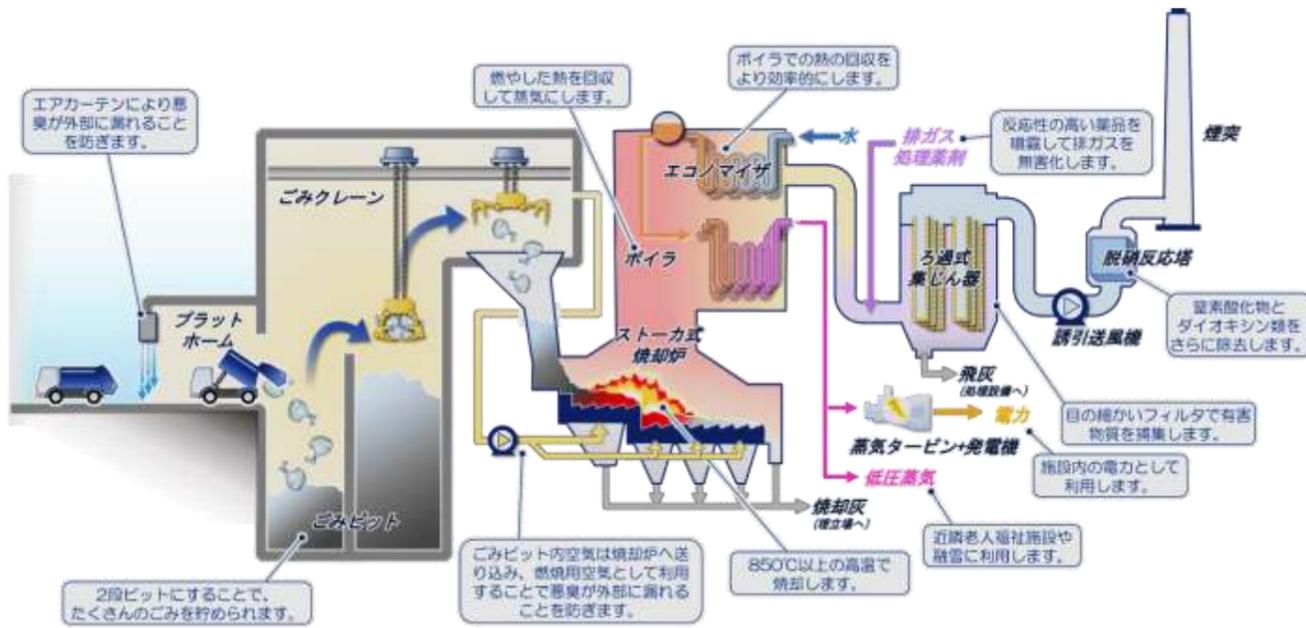
代表企業：荏原環境プラント株式会社 中部支店

協力企業：飛騨建設株式会社 株式会社林工務店 丸仲建設株式会社 大山土木株式会社

## 施設概要

### ① 周辺環境への配慮 –国内トップクラスの排ガス自主規制値を遵守します–

- 国内トップクラスの排ガス自主規制値を確実に守るため、さらに低い監視基準値を設けます。
- 稼働に伴う悪臭や振動、騒音などに対しても環境規制値を守るとともに周辺環境への影響を可能な限り低減します。



設備イメージ

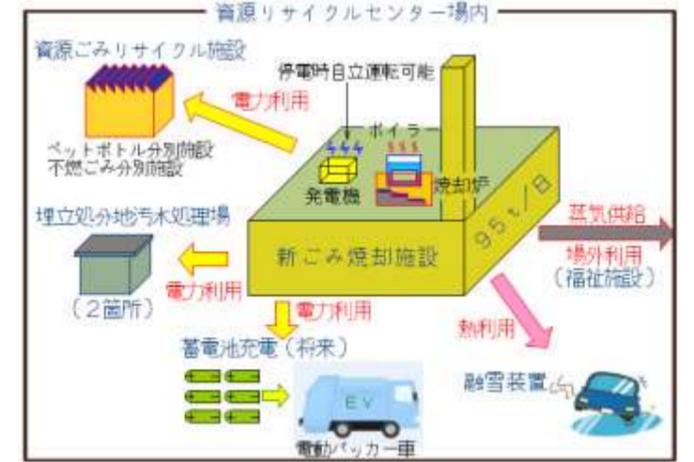
#### 排ガス自主規制値

| 項目                                | 法基準値    | 自主規制値 |
|-----------------------------------|---------|-------|
| ばいじん (g/m <sup>3</sup> N)         | 0.15    | 0.005 |
| 硫酸酸化物 (ppm)                       | 約 3,000 | 8     |
| 塩化水素 (ppm)                        | 430     | 8     |
| 窒素酸化物 (ppm)                       | 250     | 20    |
| 水銀 (μg/m <sup>3</sup> N)          | 30      | 30    |
| ダイオキシン類 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> N) | 5       | 0.008 |



### ② 熱エネルギーの効率的な利用 –脱炭素社会へ取り組みます–

- ごみの燃焼に伴う熱を利用して発電を行い、施設内や近接する最終処分場などの電力に利用することで、電気使用量の低減やCO<sub>2</sub>の排出抑制に取り組みます。
- 発電に使用しない熱は、近隣の老人福祉施設で利用したり、冬季の融雪に利用します。
- 将来的には、施設で発電した電気を活用してEVゴミ収集車などの導入を検討します。



熱エネルギー活用イメージ

### ③ 安全、安心な施設

- 30年間の使用を見据え、特に重要度の高い焼却炉、ボイラ、排ガス処理設備などは耐久性が高い長寿命品を採用することにより安定稼働を実現します。

### ④ 環境学習機能

- プラットフォームや中央制御室などを自由に見学できるなど、「見る・触れる・考える・実践する」の4つの柱を意識しながらごみの減量化や脱炭素などに関する学習ができる場として整備します。



研修室イメージ

### ⑤ 防災機能

- 震度7相当の地震に耐えうる設計や防災備蓄倉庫を設置し、災害時には最大160人を収容可能な避難所としての機能を確保します。



避難所イメージ

### ⑥ 建築計画

- 外壁は、清潔感あふれる白色をベースとし、自然豊かな周辺環境と調和するアースカラーを取り入れたカラーデザインとします。また、内装に地元産品の木材などを用い、温かみと潤いのある施設として設計します。

